

の申し入れについて

連合規約案の合意を受け、連合への正式な加盟及び人材の提供・登録についての要請があった。当学会からは“大会運営委員会”に津田理事を推薦している(第33期第7回常任理事会議事録を参照)。加えて、“教育問題担当委員会”に教育と普及委員会の古川理事を登録すると共に、連合との連絡窓口となる委員には、設立準備委員会から引き続き近藤理事を登録することとした。これまでの経緯を“天気”3月号に掲載予定。

6. 第3回理事会の議題について

各担当理事から寄せられた資料を確認した。

7. その他

(1) 国立情報学研究所の新たな論文提供サービスについて

標記について、ユーザ制限の撤廃や検索対象の拡大、データ形式のPDF化(従来はTIFF)など、平成18年度までに移行予定の新サービスに関する連絡があった。論文の著作権や掲載コンテンツの所有権の帰属などを改めて確認すると共に、掲載条件についても再検討することとした。

(2) 理事の辞退について

異動などに伴う理事の辞退および後任の補充・推薦などへの対応について検討した。

第33期第3回理事会議事録

日時：2005年3月7日(月)13時10分～14時50分

会場：東京管区気象台会議室(気象庁8階)

出席者：廣田、古川、伊藤、岩崎、菊池、木田、栗原、近藤、住、多田、田中、坪田、中村(健)、新野、板東、藤部、宮原、以上17名。

書面参加：山崎、中澤、三上、中村(和)、里村、藤村、磯部、米谷、以上8名

その他の出席者：島村、渡辺(事務局)

議事

1. 125周年記念行事準備委員会の発足について

準備委員会の構成及び発足が了承された。各支部をはじめ一般会員からの意見・要望を可能な限り取り入れるという方針が説明され、支部の理事に対し意見を汲み上げるよう要請があった。また、2005年度春季大会における理事長挨拶の中で記念行事について言及し、広く会員に趣旨を周知するよう努力することも説明された。

2. 2004年度事業報告、2005年度事業計画(案)及び2005年度予算(案)について

標記の案を検討した。詳細を今月中に確定させる。また、事業計画や予算の内容について概要説明を付けることを検討する。

3. 大会交付金及び支部交付金の見直しについて

大会交付金及び支部交付金の増額が了承された。2005年度春季大会の総会で、予算計画と合わせて説明する。また、各支部に対し、独自の財源による活動の活性化に向けた努力も要請された。

4. 大会運営の見直しについて

講演申込受付の外注オンライン化及び大会参加費と予稿集の値上げが了承された。2006年度春季大会から実施する。

5. 細則の一部改訂について

出版物の各編集委員会の委員長について、理事に限らず適任者が就くことができるようにする改訂案が了承された。“天気”4月号に提案趣旨を掲載すると共に2005年度春季大会の総会議題として提出する。

6. その他

(1) 理事の辞退について

山内 恭理事(全国区)から健康上の理由で理事を辞退したいとの申し出があり、承認された。これに伴い常任理事の補充を行う必要があることを確認し、三上正男理事(全国区)に常任理事をお願いすることとした。また、異動などに伴う理事の辞退および後任の補充・推薦などへの対応について検討した。

(2) 2007年の米国気象学会レーダー気象会議の日本招致の提案について

豪ケアンズでの開催に決定したことが、中村(健)理事から報告された。

平成17年4月11日

社団法人日本気象学会

議長 多田英夫

署名人 板東恭子

署名人 古川武彦